

日本最古の裁縫の守を祀る衣縫神社の針供養

4月29日に全国から約50名が参加

今年も4月29日に全国から日本和装士会の方々や地元・水主神社の氏子総代、水主自治会の方々が参集されて衣縫神社の衣縫例大祭が行われました。衣縫神社は由来書に依れば5世紀半ばに創建された水主神社本殿に合祀されている豊組野尊（トヨクミノミコト）のご神託により天照大神の時より衣類の女神の仕業があったと伝わっているとのこと。ご祭神は大縫命（オオヌイノミコト）と小縫命（オヌイノミコト）とされています。この二柱の神様は「古来、衣服を縫う方法を教える神とされ、いまなお紡績関係者の信仰を得ている」（城陽町史）と紹介されています。

境内には昭和53年に寄進された針の碑（針塚）があり、この隣に一昨年、和裁の無形文化財（人間国宝）の小見外次郎氏の胸像が東京都内から移設されました。（この時の様子は会報267号・2023年5月19日発行で紹介）

針供養は10時半過ぎから始まり水田清史宮司が開始を告げて祝詞を読み上げ、大森会長はじめ和装士協会の各地の支部の方々の代表が榊を捧げ、その間支部の方々は自席ではありますが立って礼拝をされていました。私が聞いた限りでは、京都・愛知・大阪・兵庫・東京・富山などの方々が参列されていました。今年はコスプレ関係の方々も参列していました。氏子総代の方の話では大きな針を奉納されたとのことで、本殿の左に1.5mは



本殿での式典

ありそうな2本の針が立てかけられていました。コスプレのエナコさんが奉納されたのだそうです。ネットで見てみると次のようなブログが見つかりました。

*えなこさんのブログ** えなこさん（豊雲野神）✧

篠崎ころさん&宮本彩希さん（大縫・小縫）のご縁から、衣縫例大祭で針供養 卍

城陽市の衣縫神社に大縫・小縫の巨大針を奉納しました！

素敵な神社なのでぜひGWに行ってみてください😊 ****

奉納された大縫（右）と小縫（左）の巨大針

